

SSKU

CIL ひの通信

No.60

編集：特定非営利活動法人 自立生活センター日野

〒191-0031 東京都日野市高幡2-9 ウィステリアガーデン 1F

e-mail cilhino@view.ocn.ne.jp

TEL：042-594-7401

発行所：障害者団体定期刊行物協会（定価百円）

FAX：042-594-7402

東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102号室

TEL：03-6277-9611

しんねんど りょうしゃ かいじょしゃ かんけいしゃ みなさま
新年度のあいさつ 利用者、介助者、関係者の皆様へ



利用者、介助者、そして関係者の皆様、日頃より自立生活センター日野の活動にご協力いただきありがとうございます。

2020年度は新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい、私たちの生活様式や行動が大きく制限され、それまで当たり前とされてきたことが、当たり前でなくなりました。未知のウイルスに対して、どのように対応していけば良いのか当初は全く分からず、

不安の中でその時できる対策をとってきました。在宅ワークが推奨される中で、介助の仕事は訪問しなければ成り立ちません。外出によるリスクがある中、介助者の皆様におかれましては、介助の必要性をしっかりと理解していただき、障害者の地域での生活が継続できるようにご協力いただき、ありがとうございました。また、これまで自立生活センター日野では、個人の自己選択を尊重してまいりまし

たが、この新しい脅威への対応として、利用者の皆様に外出の自粛のご協力をお願いや生活での感染防止のための協力などをさせていただきました。利用者の皆様にもあらためて、ご協力いただき感謝申し上げます。様々な年間行事や研修なども変更を余儀なくされました。会食によるリスクが高いために、昨年度は利用者・介助者交流会のバーベキュー大会や餅つきを行うことができませんでした。それまで対面でしか行えないと思われてきたピアカウンセリングや自立生活プログラムの講座を、初の試みとしてZoomを利用して開催することができたことは、何よりうれしく、これからの自立支援の幅が広がりました。

上着がいらなくらい暖かい日が増え、高幡不動尊のアジサイも徐々に咲く季節となりましたが、明るい季節とは裏腹に、まだまだ先の見えない新型コロナとの戦いが続きそうです。日野市にも昨年4月に障害者の差別解消条例が施行され、普及、啓発ともに差別をなくすための取り組みを進めていこうとしました。始めたさなか、新型コロナの影響による新しい差別が起きています。また、障害福祉計画のように障害のある人に対する施策に関わる

だけでなく、子供、貧困、防災など地域密着型の地域福祉活動計画に参画したり、農業や異文化交流といった様々な分野の人たちとの街づくりプロジェクトへ活動の幅を広げています。

緊急事態宣言によって自由に外出できず、外出制限されることの辛さを誰もが実感した一年となりましたが、施設に入所している方々はコロナ以前からそのような状況での生活を余儀なくされてきました。「出かけたときに出かける、行きたいところに行く」こんな当たり前を奪われて、怒りや不満を誰もが口々にしていますが、不満も言えず、他の選択肢もなく入所生活を強制されている方々の気持ちも少しでも理解していただき、誰もが自分の生き方を自由に選択ができる社会に少しでも近づけるよう、活動していきたいと思えます。

自立生活センター日野の理念や目指す社会を実現するためには、また、障害のある人が地域で一人一人が尊重される生活を継続するためには、皆様おひとりおひとりの力をお貸しいただき、協働していくことが必要です。皆様、本年度もよろしくお願ひします。

(記：秋山浩子)

ピア・カウンセリング オンライン体験講座の報告

新型コロナウィルスの影響で緊急事態宣言が出てしまうほど大変な事態になってしまいましたが、こんな時だからこそ「ピア・カウンセリングがしたい!」「同じような障害を持っている人と話をしたい!」「今の自分の気持ち

ちや仲間たちの気持ちを分かち合いたい!」ただ対面でのピア・カウンセリングは避けた方がよいよね・・・と判断して、ZOOMを使用してオンラインでやってみよう!と決めました。



ヒューマンケア協会と共催で「ピア・カウンセリング オンライン体験講座」を2021年3月5日～19日 毎週金曜日、全3回に渡り開催いたしました。

オンラインでの講座は初めての試みだったので、開催当日まで入念な打ち合わせをしました。普段おこなうリーダー、サブリーダーのほか、Zoomでの操作やタイムキーパーを担ってもらう“ホスト”(ホストとは、Zoomでは主催者や管理者の意味です。)を立てておこないました。

対面で行うピア・カウンセリングの大事にしてきた部分をピア・カウンセリング未体験の方にZoomで行った場合どれだけ伝えられるかのお試しでもあったので、それを伝えて参加者を募ったところ「自立生活センター・たいとう」から3名の方が参加して下さいました。

初日はZoomの使い方を確認し、リレーションでは簡単なゲームをしながら関係づくりをしました。初日が終わる頃にはみんなの笑顔

があふれていました。2日目3日目は、実際にピア・カウンセリングを体験してもらい、Zoomのアウトブレイクルーム(分割ルーム機能)を利用してセッションをしました。途中、映り込みや雑音など、オンライン特有のハプニングもありました。

参加者のみなさんから「体験して良かった」「モニター越しではあるけれど、近くに居るような感じだった。」「自分の話を聞いてくれて良かった」などなど言ってもらえ、とても嬉しかったです。

今後も新型コロナウイルスの影響がどのようになっていくかわかりませんが、Zoomを使いオンラインでのピア・カウンセリングができました。しかしオンラインで行うためには、一人一人の環境づくりが大事だと実感しました。今後、オンラインでも安心して参加できるピア・カウンセリングの場を目指し、今回の講座を生かしていきたいと思っています。

(記：大川)

ひのししょうがいしゃさべつかいしょうすいしんじょうれいしこうねん 日野市障害者差別解消推進条例施行1年

令和2年4月1日、遂に日野市障害者差別解消推進条例が施行されました。これまで条例を作るためにたくさんの方々にご協力いただき、そして私たちも多くのエネルギーと時間をかけて活動してきた成果が形になりました。しかし、やっとスタート地点に立ったと思っただけ、新型コロナウイルスという脅威によって条例の施行が霞んでしまいました。本来であれば大々的に条例を宣伝し、障害や差別、福祉というものを市民の皆さんの身近なものになるようにしなければならなかった大事な時期が新型のウイルスによって妨げられてしまいました。このままの状況が続くようであれば啓発イベントなどは開催できませんが、だからといって何もしない訳にはいきませんので、私たちが今できることを皆さんと一緒に進めていきたいと思ひます。

条例施行後、差別をなくしていくために障害者差別解消法に基づく日野市差別解消支援地域協議会を7月に設置しました。第1回の協議会では4月から7月までの間に3件の差別相談があったことの報告を受け、内容を共有しました。差別が少なくて良かったとも見えますが、これまでのアンケート結果からすればそんなことがあるはずがありません。改めて条例ができたこと、相談窓口が新設されたことを障害当事者や市民の皆さんに知っていただき、相談の仕組みが上手に機能するようにしていきたいと思ひます。その他、相談件数の少ない理由として考えられることは、外出自粛による障害者の相談控えなども原

因の一つではあると思ひますので、コロナ禍における相談体制について対策を検討していかなければならないところです。

差別に関して最近よく耳にする事例にも触れておきます。それは新型コロナウイルス感染者に対する差別です。若い20代の女性が体調不良にもかかわらず田舎に帰省しました。誰だ、誰だとネット上で話題になり、個人情報晒されてしまいました。確かにコロナ禍での県を跨ぐ移動や人との接触は良くなかったわけですが、1人を責めていいはずがありません。その他にも医療従事者やその家族に対しても多くの場所で差別が起きています。命を懸けて治療にあっている人たちに「コロナがうつるから近づくな!」。これでは休むこともできずに従事している人たちの思いが報われません。怖いのはわかりますがあまりにも一方的で感染した人が悪いかのような社会になっています。どこか障害者たちが受けてきた差別の歴史を見ているようです。私たちが作った条例はまさにこういった方々に対する差別をなくすためのもので、社会に対して障害、障壁を感じているすべての人が対象であるということをぜひ皆さんに知っていただきたいと思ひます。良くも悪くもコロナ感染によって差別される側を体験した人はどれだけ差別されることがつらく、苦しいかわかるはずで「差別することはおかしい」とおほひとあまえみんなこえだしていきましょう。

(記：藤田)

自立生活プログラム「CIL日野しゃべろう会」の報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回目の緊急事態宣言が2020年4月7日～5月25日まで発令されました。東京都は住民に対し、生活の維持に必要な場合を除いて、外出の自粛をはじめ、学校の休校、百貨店や映画館など多くの人が集まる施設の使用制限など、感染の防止に必要な協力の要請がありました。

さすがに1カ月も外出の自粛が続いていると気持ちも落ち込んでしまいますし、家で自粛にも飽きてしまいます。ですが、緊急事態宣言が出ている中、大人数での対面で集まって何かするのは避けた方が良く判断して、今流行りのオンライン会議アプリZoomを使って自立生活プログラム「CIL日野しゃべろう会」を2020年5月22日(金)14:00～15:30で開催いたしました。

CIL日野で自立生活プログラムをオンラインで行うのは初めての試みでした。Zoomの

オンライン接続はインターネットに接続できるパソコンやスマートフォンで専用のアプリをインストールし使用します。開催当日は上手く接続できるか？途中で回線切断やトラブルがおきないか？とても心配でしたが何事もなく無事に行えました。

「CIL日野しゃべろう会」では緊急事態宣言が出てから1ヶ月、みんながどのように過ごしてきたのか？色々な情報を共有できました。話の中には「GoogleEarthを使いバーチャル旅行」「配信動画にハマってる」「お取り寄せグルメ」「ひたすらゲームをする」「子供とのふれあい」など他にもここでは書けない事など・・・がありました。

「オンラインのモニター越しではありますが、顔を見て話ができるのはとても良かった」と参加者の方に言われ、自立生活プログラムを開催して良かったと思いました。

(記：大川)

介助者を募集しています



介助に興味のある方・やってみたいという方がお近くにいましたら、紹介してください。

同時に運転協力者も募集しています。運転歴が3年以上の方で運転が好きの方がいましたら、是非ご連絡下さい。

ねん がつ ねん がつ
わたしたちのあゆみ (2020年4月～2021年3月)

ねん がつ
【2020年4月】

26日 日野青年会議所交流会「コロナ社会何が
 できる？」参加

ねん がつ
【2020年5月】

12日 日野青年会議所交流会「あいの部屋」参加

22日 CIL日野ILP「しゃべろう会」

ねん がつ
【2020年6月】

23日 JIL総会

まちづくり人プロジェクト委員会

28日 日障連運営委員会

ねん がつ
【2020年7月】

15日 日野市地域公共交通会議

20日 日野市差別解消支援地域協議会

27日 ふんわりチャンポン研修会

28日 日野市ユニバーサルデザインまちづくり

推進協議会

31日 第1回日野市地域福祉活動計画

ねん がつ
【2020年8月】

18日 真夏のオンライン体験「障害って何だろ

う」ゲスト講師

ねん がつ
【2020年9月】

13日 日障連運営委員会

16日 日野療護園苦情解決委員会

ねん がつ
【2020年10月】

10日 日障連市懇談会

16日 第2回日野市地域福祉活動計画

30日 日野市障害者福祉計画6カ年プラン推進

会議

ねん がつ
【2020年11月】

3日 青年会議所基調講演「ゆるやかなつながり」
 参加

10日 まちづくり人プロジェクト委員会

15日 日障連日野市議会懇談会

18日 日野療護園苦情解決委員会

19日 日野市地域公共交通会議

20日 日野市自立支援協議会

ねん がつ
【2020年12月】

8日 まちづくり人プロジェクト委員会

12日 日障連 自立と人権イベント「映画会と
 シンポジウム」

22日 日野市障害者福祉計画6ヶ年プラン推進

会議

ねん がつ
【2021年1月】

22日 第3回日野市地域福祉活動計画

ねん がつ
【2021年2月】

8日 厚労省交渉

14日 日障連運営委員会

17日 日野市地域自立支援協議会

ねん がつ
【2021年3月】

4日 第4回日野市地域福祉活動計画

5日、12日、19日

ピア・カウンセリングオンライン講座

6日 福祉のつどい「無意識の偏見(思い込み)ア

ンコンシャスバイヤスこうした心づかい

でみんな幸せ」講師

17日 日野療護園苦情解決委員会

29日 日野市障害者差別解消支援地域協議会

※日障連→日野市障害者関係団体連絡協議会